

2009/10 年第二期南極海鯨類捕獲調査(JARPAII)

- 妨害活動の概要 -

(写真)

シーシェパードの妨害船



(左から) スティープ・アーウィン号(蘭) / ボブ・バーカー号(当初トーゴ船籍。後に船籍を剥奪され、無国籍) / アディ・ギル号(NZ。第二昭南丸に衝突・大破後、曳航中ロープが切れて漂流・放棄された)

船体接触も辞さない悪質な攻撃

< 調査船第三勇新丸に接触する妨害船ボブ・バーカー号(2月6日) >



< 調査船第二昭南丸に衝突するアディ・ギル号 (1月6日) >



第二昭南丸 (手前) の右舷を低速で航行するアディ・ギル号。
が航跡で分かる。

アディ・ギル号が加速している様子



第二昭南丸に向けアディ・ギル号が急加速。乗員はすでに後方に集まっている。



アディ・ギル号が第二昭南丸の右舷前部に衝突。

アディ・ギル号の船首は衝突で折れている。

< 油を流出させたまま放棄されたアディ・ギル号 (1月6日) >

水平線下に見える帯状の明るい海面部分が流出した燃料油



調査船に対する危険な異常接近を繰り返す妨害船とヘリコプター



(上左) ボブ・バーカー号がローブを曳航しながら日新丸船首の至近距離を横切る(2月11日)

(上右) 航行中の日新丸船首付近を至近距離で超低空飛行するシーシェパードのヘリ(2月11日)

レーザー光線



: AG号(2009年12月23日)

: BB号(2月6日、同14日、同21日)

ランチャー、スリングショットによる酪酸ビン等の発射・投擲



日新丸に対して小型ランチャーで瓶を発射する活動家（ 2月17日、 2月11日）
日新丸にスリングショットで球状の物体を撃ち込むスティーブ・アーウィン号上の活動家（2月16日）
活動家が日新丸に撃ち込んだビン、 ビンに突き破られた防護ネット、 ペイント弾で汚損した日新丸船体
（いずれも2月17日）

ロケット弾（火せん）の発射



スティーブ・アーウィン号が調査船勇新丸にロケット弾（火せん）を発射（2月11日）



スティーブ・アーウィン号からロケット弾（火せん）を発射する SS の首領ワトソンと思われる活動家（2月11日）

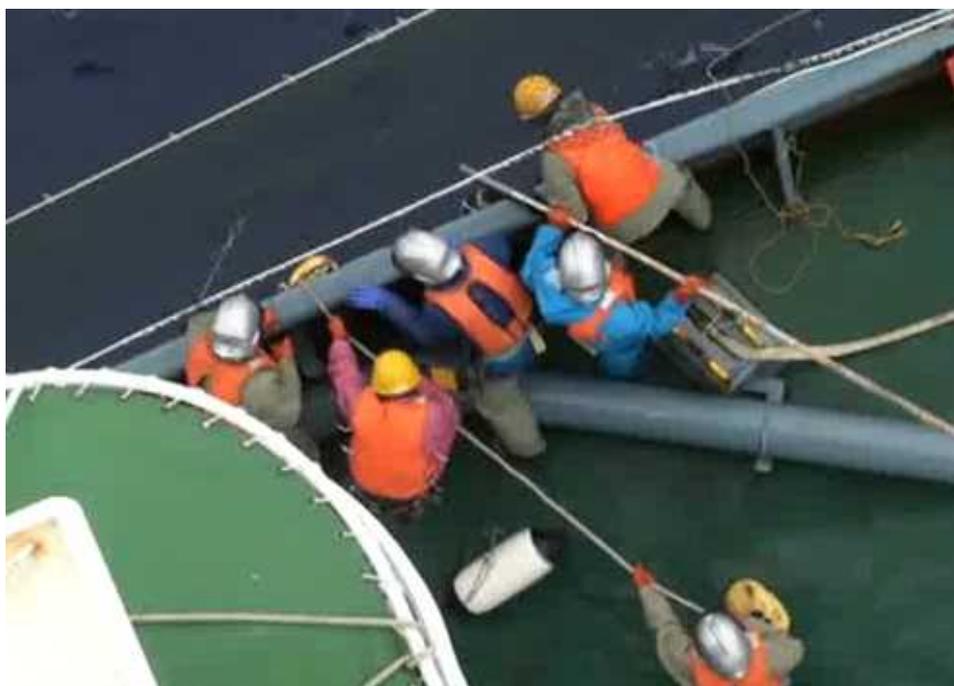
アディ・ギル号が搭載していた矢 （1月8日）



調査船のプロペラ、舵の破壊を狙った攻撃



第二昭南丸の舵・プロペラの破壊を狙って船尾からロープを流すスティーブ・アーウィン号（2009年12月17日）



調査母船日新丸の舵・プロペラの破壊を狙ったボブ・バーカー号が海中に投げ入れたロープを回収する第二昭南丸乗組員（2月14日）